



名取市那智が丘にある本院の静かで落ち着いた施術室



全身をめぐる気の通り路である経絡は皮膚の表面近くを流れているため、はりは刺さずに触れるだけ。「痛みも何も感じなかったけど、もう治療は終わったんですか」と聞かれることも多いとのこと（新仙台駅前ビル・仙台仮庵店内／2019年5月撮影）

免疫力を高め、自然治癒力を取り戻す「刺さない」はり
3千年の臨床に基づく東洋医学が、不調や痛みを改善へ

<施術を受けた方の声>

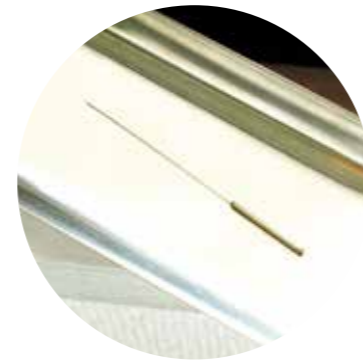
施術後は体も軽く、小走りできるまでに回復
Y.K.さん(50代女性)

2年ほど左脚の変形性股関節炎に悩んでいました。歩くとき痛みがあり、ひどい時は脚を引きずっていました。友人から今野先生を紹介していただき、「こんのはり灸院」に通いはじめて1年になります。まだ足を引き寄せるときには引っ掛かりと痛みが少しだけありますが、歩行時の痛みは消えて小走りできるまで回復しました。

いつも施術後は身体がフワッと軽くなります。日々の生活の中で、知らず知らずのうちに疲労が蓄積していたのだと感じます。はりとお灸、そして先生の技術で身体の気を通してもらい魔法にかかったようです。はりには痛みもなく、様々なアドバイスを取り入れることで身体に力がついてきたようでうれしくなります。もう少しで足もスムーズに引き寄せられると言っていたので、それを楽しみにこれからも通いたいと思っております。

節、マスクをしていると熱がこもり、喉の渇きにも気づきにくくなります。そのため血液がドロドロになる。血栓もできやすくなるので、水を摂ることは今まで以上に気にしてほしいですね」

今野先生がはり灸の施術を始めたのは、東日本大震災後の避難所だった。動けない生活に加え、テレビの映像などを見て恐怖心が引



き起こされることでストレスが蓄積し、節々の痛みや咳などの不調をかかえる人を数多くみてきた。避難所での施術が終わると、往診で原因不明の痛みやPTSDなどに悩む人たちをみてきたが、請われて治療院「本院」を自宅1階に開院。さらなる要望に応え、仙台駅前「仙台仮庵店」を設けた。



右／仙台駅前の仙台朝市ビルの3階に開設した仙台仮庵店がある
左／お気に入りの愛車は、長距離の往診を助けてくれる大切なパートナー。この1年半の走行距離は3万5000キロを記録した



本院
名取市那智が丘4-1-15
☎022-393-4030
受付時間／9:00～20:00
完全予約制 往診も対応
出張施術／10:00～20:00
休診日／日曜
他臨時休業日あり

こんのはり灸院 検索

緑豊かな住宅街にある「那智が丘 こんのはり灸院」は、今年開院10年目を迎える。東北各県や東京からも施術を求める人達がこぞ来る。今野先生が最初に触れるのは両手首とお腹。「脈とお腹の表面を通して、その人の全身の状態をみます」。先生がみているのは、東洋医学で経絡と呼ばれる生命エネルギー「気」の流れ。今野先生の指先が、この気の流れを読み取っていく。

「気には陰と陽があり、全身を巡っています。その流れのバランスがよければ健康な状態。心身の不調は、気の流れが滞ること引き起こされる。これは、3千年の臨床に基づいて確立された東洋医学の考えで、陰陽の気のパランス、流れを整えるのが経絡の施術です」。例えば、肩が痛いという場合、肩だけに原因があるのではなく、全身の滞りが肩に症状を起こしている。そこで全身の経絡の流れを整え、本来の状態へ戻してあげれば症状は自然となくなるという。



「人間は本来、自然治癒力を持っています。その力を発揮できるよう、健康な体と心に整えていくのが本来の東洋医学、経絡の施術です。また当院のはり灸は血液や体液に触れることはありませんので、安心して来院ください」と話す今野院長